

**令和元年度**

**一部事務組合下北医療センター  
決算審査意見書**

**〔要約版〕**

**一部事務組合下北医療センター  
監査委員**



下 医 監 第 1 8 号  
令和 2 年 8 月 2 5 日

一部事務組合下北医療センター  
管理者 宮 下 宗一郎 様

一部事務組合下北医療センター  
監査委員 齊 藤 秀 人  
監査委員 富 岡 幸 夫

令和元年度一部事務組合下北医療センター  
決算審査意見書の提出について

地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、審査に付された令和元年度一部事務組合下北医療センター決算について審査した結果、次のとおり意見書を提出します。



# 目 次

## 一部事務組合下北医療センター決算審査意見書

1. 審査の対象	1
2. 審査の期間	1
3. 審査の方法	1
4. 審査の結果	1
5. 審査意見	2

## 一部事務組合下北医療センター決算審査概要

1. 予算執行状況	7
(1) 収益的収入及び支出	7
(2) 資本的収入及び支出	8
2. 経営状況	9
(1) 経営成績	9
(2) 診療状況	15
3. 建設改良費の概要	17
4. 財政状態	18
(1) 資産	18
(2) 負債	19
(3) 資本	20

## 審査資料

資料1	病院・診療所別収益的収支一覧表	24
資料2	病院・診療所別貸借対照表一覧表	26
資料3	収益的収支比較表	28
資料4	貸借対照表比較表	29
資料5	病院・診療所別経営・財務分析表	30
資料6	資本的収支比較表	32
資料7	職員数比較表	33

# 凡 例

1. 金額は、原則として円単位とした。
2. 比率（％）は、小数点以下第2位を四捨五入した。
3. 構成比率は、合計が100.0となるよう一部調整した。
4. 各表中の符合の用法は、次のとおりである。

「△」 …………… 負数

「0.0」 …………… 該当数字があるが、表示単位未満のもの（零を含む。）

「－」 …………… 該当数字のないもの又は算出不能のもの

# 令和元年度一部事務組合 下北医療センター決算審査意見書

## 1. 審査の対象

令和元年度一部事務組合下北医療センター決算

## 2. 審査の期間

令和2年6月25日から令和2年8月24日まで

## 3. 審査の方法

審査に当たっては、「一部事務組合下北医療センター監査基準」に準拠し、病院事業の経営が経済性を発揮するとともに、公共の福祉の増進に努めているかに主眼を置き、提出された決算報告書、財務諸表及びその他附属書類が、地方公営企業法その他関係法令に準拠して適切に処理されているか調査し、併せて事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているかを審査した。

## 4. 審査の結果

審査に付された決算報告書、財務諸表その他附属書類は、地方公営企業法その他関係法令に準拠して作成され、その計数は正確であり、経営成績及び財政状態を適正に表示していると認めた。

## 5. 審査意見

令和元年度一部事務組合下北医療センター決算は、収益的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、収益的収入は 12,338,290,113 円、収益的支出は 12,030,177,104 円となっている。

税抜き決算額では、収益的収入は 12,309,498,069 円で、収益的支出は 12,007,697,030 円となっており、平成 30 年度と比較して収益的収入で 130,062,016 円 (1.1%)、収益的支出で 371,772,931 円 (3.2%) それぞれ増加している。

これは、収益的収入では、医業外収益が 43,190,934 円 (2.0%)、特別利益が 142,992,361 円 (41.7%) 減少したが、医業収益が 312,464,178 円 (3.2%) 増加したことによるものである。

また、収益的支出では、医業費用が 288,788,900 円 (2.6%)、医業外費用が 104,186,188 円 (23.1%) 増加したことによるものである。

この結果、収支差引額では、301,801,039 円の純利益を生じた決算となっており、平成 30 年度より 241,710,915 円 (44.5%) の減少となっている。

### (1) 医業収支について

医業収益は 9,938,653,075 円で、平成 30 年度と比較して 312,464,178 円 (3.2%) 増加している。

このうち、入院収益は 5,512,107,878 円で、平成 30 年度と比較して 33,268,963 円 (0.6%) 増加となっている。これは、むつ総合病院において、外科による手術件数の増加と眼科及び脳神経外科への常勤医配置による入院患者数の増加によるもので、平成 30 年度と比較して 886 人 (0.6%) 増加している。外来収益は 3,928,329,399 円で、平成 30 年度と比較して 243,147,361 円 (6.6%) 増加している。この主な要因は、外来患者数が全体で 3,592 人 (1.2%) 増加したことに加え、むつ総合病院において、一人当たりの診療単価が高い血



友病患者数や人工透析患者数が増加したことによるものである。

また、医業費用は11,371,525,676円で、平成30年度と比較して288,788,900円(2.6%)増加している。この主な要因は、委託料、補償費等の経費が24,226,291円(1.4%)減少したものの、医師数の増加及び夜間看護手当の増額等により給与費が平成30年度と比較して133,800,929円(2.3%)、薬品費等の材料費が173,496,498円(6.8%)増加したことによるものである。

医業収益対医業費用比率は、医業活動での収益力をみるための比率で、100%以上が望ましいとされているが、下北医療センター全体で87.4%と低いものの、平成30年度と比較すると0.5ポイント改善している。

## (2) 資本的収支について

資本的収入及び支出では、消費税及び地方消費税を含んだ決算額で、資本的収入は1,717,784,664円で、資本的支出は2,104,256,412円となっており、平成30年度と比較して資本的収入で610,357,741円(55.1%)、資本的支出で600,997,526円(40.0%)それぞれ増加している。

これは主に、建設改良事業に係る事業費の増加に伴い、収入においては企業債が581,900,000円(141.5%)、支出においては建設改良費が645,674,290円(128.8%)増加したことによるものである。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額386,471,748円は、過年度分損益勘定留保資金384,575,065円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額1,896,683円をもって補填している。

建設改良事業では、むつ総合病院において「小型貫流ボイラー交換工事」、大畑診療所において「事務室エアコン改修工事」等の実施により当該施設の環境及び設備が整備されたほか、むつ総合病院において「医療情報システム」、大間病院において「電子カルテシステム」等の更新により医療設備及び情報システムが拡充された。

### (3) 医師、看護師等の確保について

医師は、臨床研修医が16人、医師が53人で、平成30年度末と比較して臨床研修医が4人、医師が3人増加し、全体では7人増の69人となった。

歯科医師は、2人で平成30年度末と同数である。

また、看護師等は、看護師等修学資金貸与制度利用者から2人、随時募集により2人採用する等、人員の確保に努めているものの、平成30年度末と比較して11人減の383人となった。

医師については、寄付講座と送迎バスの運行により、医師の確保が図られた。また、看護師等の減少傾向に対処するため、夜間看護手当を増額したほか、看護師等修学資金貸与制度の貸与額を増額する条例整備を行った。

医師、看護師等の確保は、良質な医療サービスの提供に不可欠なばかりでなく、充実した診療体制の構築や収益確保のためにも重要な要素である。

今後においても、地域医療を担う自治体病院・診療所としての機能を維持、発揮するため、青森県や弘前大学をはじめとする各関係機関との協力体制に引き続き力を注ぎ、地域医療を支える人材の積極的な確保に努めるよう期待するものである。

### (4) 経営健全化について

医療センター全体では、不良債務は生じておらず、大畑診療所の不良債務については、市町村補助金10,000,000円を繰り入れたことにより、平成30年度と比較して13,981,652円(6.5%)減少し、200,371,161円に縮小されている。

また、むつ市から債務負担行為の履行により、負担金154,889,000円が繰り入れられた。

少子高齢化や人口減少等に伴う患者数の減少、医師・看護師の確保等、病院経営を取り巻く環境は厳しく、地域の医療需要に即した医療提供体制の整備や効率的で安定した経営が求められる中、経営の健全性・効率性を示す経営指標

は、純利益計上の影響により、平成30年度と比較して改善傾向にある。

今後むつ総合病院新病棟の建設計画が進むに従い、事業費が増大して行く事が想定される中、「一部事務組合下北医療センター新改革プラン」をもとに、一層の経営の効率化と健全化を進め、限られた医療資源の有効活用により、地域の医療需要の実情に即した医療提供体制の構築を図るとともに、地域住民が住み慣れたまちで安心して医療を受けることができる体制を将来にわたり安定的に維持できるよう努めることを望む。